





百人一首傳校註之經

一傳ハ師ニカリ校ハ第ニカニル

一切紙首カシハ一傳ツ切紙ニセシヲ今一所卷スル

一山鳥カシエキトハ喰ノ字ノ心ヤリ

一毛符圖雖ノ旨 毛詩卷頭可考

一天ノ原 京山野ノ石ヲ云摠シテヤ字ノ所

ヲ云人ニ石ニハ 版ト云ノ如シ 摠カニト云モ上ニ

有ニヨツテハ 國守モ國ノ頭ナレハカニト云者ハ

文字不多致カヤリノ事ニテ遍セヤリコレモ

神書ノ一傳也

一天文道可為 一初念ト云所出也

人丸ノサクラヲ中ト見 松サテブリ 稻葉ハ

ノサトヤト此白初石守リイッル所 初念

別名音ノ出所也此百人一首モ左ノ如ク

初念ノウタチ心ニモナテ定家之摠也



別名所ノ出所此百人二名モトルハ
初一念ノウタチ心ニモナテ定家之撰也

一 二口リノ初ニ口レハ神書ヨリ出スル
ニテ心未方ノ一ニ稱神書ノ出所同也

初念ノ一ナシ初ニ云云所ニ云スヘシ

一 色受想行識 夕上ハ扇ニテイハハ

此之知ト大概ナシ所ガ色ノ心ナリ此扇ハ

礼儀ノ具或暑ヲ拂ノ具ナド、心ニモモヒ

ウケル所ノ想ハ此扇ハ尤ハ及苦業ノ竹助ニテ

人ノ作ル所トモモテ想ヤリ行ハタテテテ

チ加チチニテテワウガ行ハ識ハ知ノ上

ナカニヨクニリケルナリ

一 六花ハ目冥口心再身此六ノモノニモカレ

ヨクアル所ナク云一心王ハ佛家ニ金剛心ト云

ニヤレハ不生不死ナル物ノ心所ト云事モアリ

是ハ當事ニ云所ノ心ナリ一本首ハ人々

心ヲナシ在所ニ人ヨクニ云ハシ久所ヲニヤキ

其六元ニサトリカエルナク云一法身佛ノ上ニテ

ニツ品アリ極可尋一王在位佛經ヨリ

出スル詞ナリ心王ヲ本覚法力ト成定テ

在ヲ指テ云ナリ一有明ノ哥ノ口決ハ

カシタレナケレド古ヨリ名所ナリ知テシテ

所カ女奇ノ大なるモノナリ

一 一カキキノワタセルハシヨノツ子ノ務ノ心ニテハ
ナシ陰陽交交通ズル所ナリ云云
ハシハカキキヨリエタノキシエカケ先モノ

一 一カサキノワタセルハシヨノツ子ノ務ノ心ニテハ
ナシ陰陽交交通ズル所ナシト云
ハシハカキシヨリエケタノキシエカケ先モノ
陰陽ヲキシニミテ務ニテ一連シタル所ナ
サシテ云ナリ天ノウキハシトイルモ陰神

陽神ノ取ニ云云イサナキキノ字クナ
ビルニカリテカリス是陰ナリイサナキ

一 一七父ト云トハ^{漢ハ}是道之^{流ナリ}流ナリ
初秋ニ行

先々モアサト云トハ天上ニハナキト云カ
ナカラ矣回本朔トモニ今ハ^薄薄ニモ下界
ノナキリ

一 一鳥鶴^羽羽ナラステ日生ヲワタスト云トモナキ
是ハカラスト云物ハ^羽羽言ニナキワタリテ天
象ノ類ニサナカキ物ナシハカク名付タリ

一 一父サシハノウタ 天ノ徳ハ凡ナリ庶ナ
徳ニ草ナリ凡ノヨリイワカエモフルト云ガ
カクタキ所ニ其人ニニ有テ云モサナ

一 一和^キ和ノ^キ和ノウナリ 一和^キ和ノ^キ和ノヨリ
得心セリシカシケ名トハイゾレ伊人ナラシ

一 一カサキノキノ字ノ心ハイカシ^備備可思ナ
一 一母の中はつももノウタ

一 一子ノ所代イワシテモトナモヒシニサモ
ナキトハ 鎌倉石匠ノ所分テ子ノ
所代イカナカ有ケ備可思

一 一天智持統人^居居山^田山田

天智天皇ノ時名ヲ^統統ナト口エタナトカケ
ナキトハ

一 一天智持統人^居居山^田山田

天智天皇ノ時名ヲ^統統ナト口エタナトカケ
ナキトハ

一 天智 持統 人 居 山 辺

天智天皇ノ時方王統ヲトコエタニナトカセ
テ大キナアマリシ人哉天智ノ方テ
天ノ智アハ自ト云テテ天智ト申
奉ル則此時ヨリ日本ニ礼樂ノ道
カカニナリタリ天智ノ天皇ノヨク製衣シ
タマフナリシ

一 持統 太子 齊 彦 政 女 帝 三

世ヲオカメセタマイニ統ニ逆統ノ
心ニテ先代ノ傳代ヲヤクナリ別
持統ト号ス此二帝才一分エト
空流ノノヨクナリシ陰陽ノ心
其次ニ人唐ナラナシ又考略ニハ
唐人ナラテテ此四者別ニ切ツ
口傳可仰

一 秋 田 ノ 白 夕 色 詠 ア レ ト モ 後 撰 秋

ノ 詠 ニ 大 色 ハ 秋 ノ 夕 々 ト 見 定 ヲ

一 赤 人 ノ 任 所 石 山 也 ト ヤ ラ シ 從 之 爲

一 ツ ハ カ ナ ノ 傳 是 ハ 神 書 ノ 上 三

別シテ大切ノ傳一子相傳ホトクハ

ツハ 佐 賀 ノ 神 ノ 別 号 上 ツ 中 ツ

クツ、ト云奉テニ神ノ神号シの奇モ

ヨミ合テ一巡有テツハ、ハ土ニテツキ先

第ナリ 四海ニモ土ハツクモノナリ カナハ

ヨミ合ヌ一徳有^レハハ土ニテツキ
第ナリ四海ニモ土ハツクモノナリカ十八
金ニテリ人金ハ物ヲキル物ナリ哥ノ上ニ
ヨリ行ツキテ又一所切字ナクテハ哥ニ
ナラスヨリ更スハ是ヲ土ノ主ノ何ナ
右ニ云ツノニ号是^和可^和神ノ信ト云

高年ヲモハ月十日扱之
ミヤウガ相叶ル
新^レ之^レ言^レ諸^レ絶^レナリ

周辰

百人百首傳授坊紙



百人一首傳授坊紙

○ 五方ちり

ありのやまをか

そのまらふわささ

まの唐ささやこの

まの明のつまれく

まの忠人をまつか

右二条殿へ傳

山崎を和玉のきり中不や、まのその也。

多の走ぬゆゑのこけしとむひかくる
ありとせし

人君ノ為ニ教誡ノ事ト見ル処カ情々要旨ニ秋風ノ至リ
至ラヌ星ナキカカリト

1 秋田乃らううこまへむくうれそ

河とて不水所一を舟と天位は所てふふ
言向カ万極の政をそまをる底よて位は海
ふふ言事(職多と)其職の事こと忘る時
は一こ部はううこれふあ生とと分り
み流こは極入るのうま内ゆ多ひく時
言向カ天位あるふふの威權をおくれふ
きこくあふ多とと也 エモ悪ライミレメコラスノ音ニ目ヲ
着ヘシ

1 右の中はつこおしつるれ

高
言子の代とつうまうかとむひふはむか
ごまげまううあふと也又大臣の職のくし
ちとあふとと

今梅こ言ね公一凡流文雅一人こ過をト憂
君重職ホトクハカ、有ケ、此説イフカ
化して此一傳ニ章合附ヒシノ相トコ分トツオスモて、又是ト
先輩よりお作秘法とて故より侍ラヌ、又、
季少法印秘抄抄ノ後より音切カと改正
御ノ本説トハ覚侍

君重聰... 此... 先輩... 季次... 御本...

あしとを

天智 持統 人 彦 迹 此四首...

喜撰法師 小池可 功成 菅家...

新 郷 謙徳公 其経 後河 未...

経 佐 治 崇文 由 秘 房 基俊

治 田 皇太后 夫 俊成 此...

雅 家 理 定 兼盛 壬生

此の所 あさちふ 此...

身 之 乃 天智 持統 人 凡

新 之 乃 天智 持統 人 凡

お傳

一 三 七 之 傳

天智 持統 人 凡 陽天 陰地 聖人

一 土 金 秘 波

致ヲ廣允ト法ヲ 示スルニカ主意也

筒ノ神号 統 断 土金ハ神通之大根源...

陽天 陸地 聖人

一 法土 呪金 秘訣

致ヲ廣ク下法ヲ示スルニカ主意也

筒ノ神号

断

土金ハ神道之大根源ニ結断ハ秘奇之要法ナリ且其神号也避久キナリ

此二ヶ条ハ元政上人傳授ス

書ニシテ各々ノ理明ク首尾

以テ系此先覺ノ源幸隆三才

与 神道ノ師 埴鈴翁

書之ハ其乃ハ秘上秘説ヲ敬

可秘

此一巻乃草山政公傳附其俗姪雄峯

先生石井君者也君乃早川舅族當以此

授之云先是予從觀智院玄津法師

受去今集伊勢物語及此書等之秘訣

先生石井君者也。君乃予舅族，當以地授之云。先是予從觀智院玄津法師，受古今集、伊勢物語及此書等之秘訣。吾云自德翁之切紙印是物身，法師得諸東都深川泐泉師，泉師乃風觀齋長雅之高弟，門人云其傳與雄峯先生所授大同小異。疑妙子於貞德前，有異國欲將於傳附之本者，所刪修款蓋妙子之於和歌始與常師，而嚴與嵐山收玄氏相善，收玄氏事於

中院內府

十輪院通村公

在地下最著名，高而者

妙子從之遊，必宜身其傳之者於其真，真可謂希世之珍，其門人河窪某從遊有身，今以其舊志懇請悉傳附之，尔其詳實存以授，自非其人慎勿

相傳矣

享保十七年龍次季秋八月望

妙子從之遊，男宜年其傳之者於藍
兵，真可謂存古之珍，兵門人河窪某
從遊有年，今以其舊志懇請，悉傳
附之，尔其詳實存口授，自非其人慎勿
相傳，兵。

享保十七年龍次壬子秋八月望

鶴栖樓主人平維剛跋

古介

○其之云之辨

○秋田山田會詳說

附石室古說

○一初也說

○其之云之辨